公益社団法人 日本技術士会 中国本部 本部長 福田 直三 機械/船舶·海洋/航空·宇宙部会長 高井 英夫 電気電子/経営工学/情報工学部会長 盛田 直樹 化学/繊維/金属部会長 焼本 数利

公益社団法人日本技術士会中国本部 機械/船舶·海洋/航空·宇宙部会、

電気電子/経営工学/情報工学部会、化学/繊維/金属部会 2023年度共催講演会 (ご案内)【ハイブリッド講演会】「将来の日本のエネルギーを考える」

拝啓 時下益々ご清祥の由お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。弊会では、『経済産業省 資源エネルギー庁 令和5年度「講師派遣」事業』を受けて、「将来の日本のエネルギーを考える」と題して講演会を開催致します。温室効果ガス増加による地球温暖化、地政学リスクの高まりによるエネルギーの安全保障、グリーントランスフォーメーション(GX:化石エネルギー中心からクリーンエネルギーへの転換)の加速化に向けた動きなど、日本のエネルギー・原子力政策は、大きな転換点に差し掛かっています。日常生活に欠かせないエネルギーについて、一緒に考えてみませんか。

講演会は、広島会場での対面方式と、WEB会議 Microsoft Teams を用いてご自宅・オフィス等で個人視聴する方式とのハイブリッドで行います。ふるってご参加の程、ご案内申し上げます。

- ・参加申込み:
- ①会員(正会員、準会員): 下記の統括本部 URL からお申し込み下さい。 https://www.engineer.or.jp/kaiin/password/cpdevent/cpdeventlist.php
- ②会誌購読者、連携協定校、協賛団体会員:下記のURL からお申し込み下さい。

https://forms.gle/dJ2kjoW8vABXHKN26

なお、インターネット接続環境のない方は、FAX・電話での申込みも可能です。

敬具

- 1. 主 催 (公社) 日本技術士会中国本部 機械部会/電気情報部会/化学金属部会共催
- 2. 日 時 2024年2月24日(土) 15:20~17:20
- **3. 会 場 (対面式)** 第 3 ウエノヤビル 6 階コンファレンススクエア (広島市中区鉄砲町 1 番 20 号) (個人視聴) ご自宅、オフィス等 (Microsoft Teams による講演会の配信)。
- 4. 講演プログラム

MI 110 4				
時間	講演会次第 司会進行 中国本部 電気情報部会 部会長  盛田 直樹 氏			
$15:20\sim15:30$	開会の挨拶 中国本部 電気情報部会 副部会長 杉内 栄夫 氏			
$15:30\sim 17:00$	講演テーマ名			
	「エネルギー政策のゆくえ ~産業への影響と今後の取組みは?~			
	ならびに GX(グリーントランスフォーメション)に向けた挑戦」			
	講師 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループ			
	リーダー 主席研究員			
	秋元 圭吾 氏			
$17:00\sim 17:10$	質疑応答			
$17:10\sim 17:20$	閉会の挨拶 機械部会 部会長 高井 英夫 氏			

- 5 定員、対象、参加費、CPD
- (1) 定員: 広島会場 30 名、個人視聴 100 名
- (2) 対 象 : ①会員(正会員、準会員)
  - ②会誌購読者、協賛団体会員、連携協定校(注)
    - 注) 連携協定校: 広島工業大学、岡山理科大学、呉高専、徳山高専、

宇部高専、津山高専、松江高専)

- (3) 参加費: 無料
- (4) **CPD受講証** : 会場参加者には講演終了後に名前入りの CPD 受講証 (2 時間) を配付します。

個人視聴の会員は各自会員専用マイページからダウンロードして下さい。

中国本部 URL 申込者で必要な方にメールで送付します。

- (5) **会場参加条件**:新型コロナウィルス感染の懸念無し(検温 37.5℃未満)、マスク(任意)、手指消毒。
- (6) 個人視聴方法 : 講演以前に事務局から招待メールをお送りしますので、そこに記載された URL により、Teams 会議に参加ください(厳重注意事項:①録音・録画禁止,②マイク・ビデオを必ずオフとして視聴すること、③本名で参加すること)。
- 6. 申込について
- **(1) 締切り** : 2024 年 2 月 20 日(火)(ただし、定員になり次第締め切ります)
- (2) 電話・FAX での申込先・お問合せ先:

公益社団法人 日本技術士会 中国本部事務局 勝田

〒730-0017 広島市中区鉄砲町 1-20 第3 ウエノヤビル6階

TEL 082-511-0305 FAX: 082-511-0309 E-mail: ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp

# 中国本部 機械部会/電気情報部会/化学金属部会 共催 2023 年度ハイブリッド講演会

#### 講演要旨

### 【講演1】

#### (1) 講演タイトル

『経済産業省 資源エネルギー庁 令和5年度「講師派遣」事業』 「将来の日本のエネルギーを考える」 「エネルギー政策のゆくえ ~産業への影響と今後の取組みは?~ ならびにGX(グリーントランスフォーメション)に向けた挑戦」(仮題)

#### (2)講演者所属・氏名

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構 システム研究グループリーダー 主席研究員 秋元 圭吾 氏

#### (3)講演要旨

日本政府は、グリーントランスフォーメーション (GX) 政策を掲げて、温室効果ガス排出の削減を加速し、カーボンニュートラルの実現を目指しています。カーボンニュートラルの実現とその移行(トランジション)において求められる対策を展望します。現状では万能な技術は存在せず、様々な技術を組み合わせ、ポートフォリオを組むことが重要と考えられます。全体システムとして理解した上で、産業、社会が取り組むべき方向性、そして課題を明らかにします。

#### (4)講師ご紹介

講師の秋元圭吾様は、東京工業大学特任教授を兼務されている他、総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会委員、その他多くの審議会の委員をつとめておられます。著書に、「長期ゼロエミッションに向けて」(エネルギーフォーラム〈共著〉2017)、「温暖化とエネルギー」(エネルギーフォーラム〈共著〉2014)、「CO2 削減はどこまで可能か―温暖化ガス・25%の検証―」、エネルギーフォーラム(共著)2009、「低炭素エコノミー―温暖化対策目標と国民負担―」、日本経済新聞出版社(共著)2008 など。地球温暖化対策、エネルギーに関する学術論文多数。総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員、産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会委員など。寄稿『秋元圭吾氏に聞く脱炭素への道』、「2050年カーボンニュートラル実現に向けた対応の方向性」(中日新聞)、「カーボンニュートラルに向けた水素・合成燃料技術展望」(電気評論2021年5・6月号)、「2050年カーボンニュートラルのシナリオ分析(中間報告)」など多数の著作を発表されております。

# 機械/電気情報/化学金属部会共催ハイブリッド講演会参加申込書(2024年2月24日[土])

主催:公益社団法人日本技術士会中国本部申込FAX番号:082-511-0309

## 標記講演会に参加します。

参加会場 : 口広島会場 口自宅・勤務先等(Teams による個人視聴)

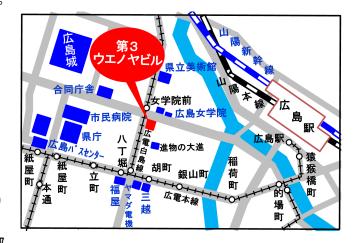
(下記に■ [または☑] を記入して下さい)

	氏名	資格(注1)	区分(注2)		
申込者		□技術士 □修習技術者 □その他	□正会員・準会員 □協賛団体会員 □会誌購読者 □連携協定校 教職員・学生		
技術部門	□機械 □船舶·海洋 □航空·宇宙 □電気電子 □化学 □繊維 □金属				
(注 3)	□資源工学 □建設 □上下水道 □衛生工学 □農業 □森林 □水産				
	<ul><li>□経営工学 □情報工学 □応用理学 □生物工学 □環境 □原子力·放射線</li></ul>				
※複数選択可	□総合技術監理				
居住県名	□広島県 □岡山県 □山口県 □鳥取県 □島根県 □その他(県名 )				
勤務先					
連絡先	E-mail		□会社 □自宅		
	FAX		□会社 □自宅		
	TEL		□会社 □自宅		

- 注1) 資格は該当するものに■(または☑)を入れる。
- 注2) 区分で会員とは日本技術士会会員を指し、 該当するものに■(または☑)を入れる。
- 注3) 技術部門は技術士か修習技術者のみ、 該当するものに■(または☑)を入れる。
- 注4) 連絡先は(会社・自宅)のうち該当するものに■(または☑)を記入し、E-mail 等を記載。
- 注5) 本個人情報は、本行事の参加申込み以外には 使用しません。

問合せ先: 〒730-0017 広島市中区鉄砲町 1-20 第3ウエノヤビル6階

公益社団法人日本技術士会 中国本部



TEL:082-511-0305 FAX:082-511-0309 E-mail: ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp